

寺内小だより 夏休み号「安心・安全な学校づくり」

豊中市立寺内小学校 令和7年(2025年)7月18日発行 中村和之
豊中市寺内2-15-1 TEL 6864-4950

■終業式

本日、1学期の終業式を迎えました。最近は、「夏」を感じる期間が非常に長く、明日からの夏休みが待ち遠しかった子が多いと思います。今日の終業式では、4月に1年生を迎え、6年生が手をつないで一緒に入場してくれたことに触れ、これからも学年は違っても寺内小学校に通う子は、みんな仲間として、温かい学校にしていってほしいことを伝えました。また、1学期に得た経験の中で、失敗やミスをしたことも自分の糧になる、失敗するのは当たり前、だから、夏休みにも2学期以降も、いろいろなことにチャレンジしていってほしい、と伝えました。



7月1日の創立記念日を前に、寺内小学校のお誕生日をお祝いしました。「だれにだっておたんじょうび」の歌とともに、そのときに振り返った、寺内小学校の歴史や周りの人たちの思いを自分たちも受け継いでいる、地域をはじめ周りから大切にされている、ということを感じてほしいと思います。

保護者・地域の皆さまにおかれましては、4月からこの間、学校を支えてくださり、本当にありがとうございました。

■風水害避難訓練

7月9日(水)、風水害避難訓練を実施しました。今回は、地域・保護者ボランティアの方も一緒になって地区別に下校して下さった所もありました。実際に風水害等により集団下校を行うことになったら、急な下校に対応しきれないご家庭もあるので、解散場所で教員は少し待機をして、家に入ることができなかった子を連れて一旦学校に戻るようになります。集団下校や危険箇所の見守りをボランティアの方にもお願いすることもあります。そのような形で、今回は共同で訓練を行いました。



■着衣泳「浮いて待つ」(6年)



6年生が着衣泳の実習を実施しました。着衣のうえ靴を履いた状態で、水の中では体が動かしにくいことを実際に体験して、そのような状態で無理して泳ぐことは危険であること、浮いて待つことが大切であることなどを学習しました。ペットボトルをお腹に当てて、仰向けになって浮かび、呼吸を確保した上で救助を待つ練習をしました。1回の着衣泳の経験で「大丈夫」というわけではありませんが、練習して経験をしておく、ということは大切です。夏季休業中には、水に親しむ機会もあることでしょう。水難事故を未然に防止するために、慎重な行動を心がけてほしいと思います。

■ジュニア救命講習(5・6年)

5・6年生を対象に、各学年1時間ずつ救命講習を実施しました。消防局の方から、いざというときの対応を教えてくださいました。実際に胸骨圧迫の練習は、人数分の簡易キットを使って各自が行いました。他にも、倒れている人を見つけた時に、周囲の安全確認、意識・呼吸の確認、119番通報、AEDの使い方などについても教えていただきました。



■寺内フェスティバル

7月16日、寺内フェスティバルを行いました。3年生以上がクラスごとにお店を出し、1年生と6年生はペアグループになり一緒に回りました。校舎内を回ってお店で楽しむ姿がたくさん見られました。当日に向けての準備でも、いろいろと課題も出てきたことと思いますが、解決していく過程も大切にしながら、クラスで力を合わせて一つのものを作り上げる体験ができたことでしょう。

■教職員研修

昨今の教職員による不祥事の報道を受け、教育委員会による「不祥事予防研修」を実施しました。「防犯研修」「緊急時対応訓練」等も夏季休業中に予定しております。子どもたちにとって何より大切な、安心・安全な学校づくりを目指して、2学期以降も引き続き取り組んでいきたいと思っております。夏季休業中は他に、授業研究をはじめ多分野にわたるテーマについて、校内研修・校外での参集型の研修・オンライン研修など、教職員は研鑽に努めます。